高規格幹線道路等の整備による5箇年間（H15～H19）の成果

成果目標	平成１４年度末	平成19年度末（予定）	５箇年フロー値
救命救急センターに１時間で行ける人口	７３０万人	７４０万人	※別添1 １０万人増加
高規格幹線道路等まで １時間で行ける人口の割合	９７％（約９５０万人）	９９％（約９７０万人）	２%向上（約２０万人増加）
高規格幹線道路等と結ばれる 重要港湾（全体１５港）の数	５港	７港	※別添2 ２港増加
高規格幹線道路等と結ばれる 空港（全体９空港）の数	７空港	８空港	※別添2 １空港増加
都市間平均所要時間	１００分	９５分	※別添3 ５分短縮
主要都市まで９０分で行ける市町村の割合 ※主要都市は、人口20万人以上の9都市	７７％（３０９市町村）	８０%（３１８市町村）	３%向上（９市町村増加）
規格の高い道路を使う割合 注2）	８％	９．０％	１%向上

注1）人口は平成12年国勢調査、市町村数は平成14年度末現在

注2）高速道路などの自動車専用道路を利用する交通の割合